

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 いすゞ自動車株式会社

上場取引所 東

コード番号 7202 URL <http://www.isuzu.co.jp/investor/index.html>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 細井 行

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部総務グループリーダー (氏名) 甲山 博敏

TEL 03-5471-1141

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	442,848	△48.5	△20,017	—	△23,580	—	△27,768	—
21年3月期第2四半期	859,715	—	39,202	—	40,075	—	30,077	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△16.39	—
21年3月期第2四半期	17.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,037,308	309,279	24.9	152.48
21年3月期	1,026,786	331,773	27.3	165.61

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 258,394百万円 21年3月期 280,636百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

現時点では、平成22年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,020,000	△28.4	△18,000	—	△23,000	—	△20,000	—	△11.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	1,696,845,339株	21年3月期	1,696,845,339株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,283,490株	21年3月期	2,234,999株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	1,694,586,630株	21年3月期第2四半期	1,695,051,384株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月11日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

3. 平成22年3月期の期末配当は、現時点で判断する業績予想を鑑み、未定とさせていただきます。予想額の開示は可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出など持ち直してきておりますが、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。

世界経済は雇用が悪化するなど引き続き深刻な状況にあります。景気刺激策の効果もあってアジアを中心に持ち直しの動きが広がっており、景気は下げ止まってまいりました。

先行きにつきましては、景気は緩やかな持ち直しに向かうことが期待されますが、信用収縮やさらなる雇用情勢の悪化等により、景気が低迷を続けるリスクが懸念されます。

このような状況の中で当社グループは、コスト体質の改善を進め、業績の向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の国内車両販売台数につきましては、優遇税制・スクラップインセンティブによる販売回復の兆しは見られたものの、厳しい状況は依然として変わらず、シェアを伸ばしたものの、前年同期に比べ13,958台(42.8%)減少の18,637台となりました。海外車両販売台数につきましては、北米、中南米、欧州、中近東、アフリカ地域をはじめとして、世界的に市場の回復が遅れており、前年同期に比べ119,044台(56.7%)減少の91,028台となりました。この結果、国内と海外を合わせた総販売台数は前年同期に比べ133,002台(54.8%)減少し、109,665台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、海外生産用部品は、アフリカおよび南米地域への輸出が引き続き減少し、前年同期に比べ272億円(57.3%)減少の203億円となりました。また、エンジン・コンポーネントでは、国内販売およびアジア地域への輸出が依然として回復には至らず、前年同期に比べ695億円(58.7%)減少の489億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、4,428億円と前年同期に比べ4,168億円(48.5%)減少いたしました。内訳は、国内が1,877億円(前年同期比38.2%減)、海外が2,550億円(前年同期比54.1%減)であります。

損益につきましては、固定費圧縮および合理化加速等によるコスト改善が進んだものの、売上高の減少による影響が大きく、営業損失は200億円(前年同期は392億円の利益)、経常損失は235億円(前年同期は400億円の利益)となりました。

また、四半期純損失は277億円(前年同期は300億円の利益)となりました。

【所在地別セグメントの業績】

① 日本

景気後退による厳しい状況が続く中、国内および輸出車両売上がともに減少し、売上高は3,206億円(前年同期比48.8%減)となりました。また、営業損失は266億円(前年同期は211億円の利益)となりました。

② 北米

小型トラックを中心として販売台数が引き続き減少し、売上高は292億円(前年同期比39.9%減)となりました。また、営業利益は11億円(前年同期比15.1%減)となりました。

③ アジア

タイ生産のピックアップトラックの売上が減少したことに加え、前年同期と比べ円高が進んだことによる為替影響により、売上高は1,191億円(前年同期比53.0%減)となりました。また、営業利益は41億円(前年同期比72.8%減)となりました。

④ その他の地域

市場の回復が遅れている中、主に豪州で販売台数が減少したことに加え、円高による為替影響を受け、売上高は236億円(前年同期比46.1%減)となりました。また、営業損失は0億円(前年同期は16億円の利益)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて105億円増加の1兆373億円となりました。新規借入の実行により現金及び預金が260億円増加した他、受取手形及び売掛金が41億円増加しております。一方、たな卸資産が98億円減少した他、設備投資を抑制した結果、有形固定資産が77億円減少しております。

純資産の部では、為替換算調整勘定が34億円増加した他、その他有価証券評価差額金が市場の回復により20億円増加したものの、四半期純損失を277億円計上したこともあり、純資産は前連結会計年度末に比べて224億円減少し、3,092億円となりました。自己資本比率は24.9%(前年度末27.3%)となりました。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて375億円増加の3,633億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内販売の需要減、並びに海外販売は一部地域を除いて当初計画レベルまで市場の回復が進まなかった影響を受けて、減収となりました。下半期につきましても市場の回復が遅れている影響を見込み、通期の予想を前回発表予想から600億円引き下げております。

一方、売上減少にともなう減益影響をコスト改善により吸収し、営業利益および当期純利益につきましては、前回発表予想と同額と予想しております。

なお、経常利益につきましては、持分法投資利益の増益効果、並びに為替差益の発生により、通期の予想を前回発表予想から30億円引き上げております。

平成21年5月11日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,080,000	△18,000	△26,000	△20,000	△11.80
今回修正予想 (B)	1,020,000	△18,000	△23,000	△20,000	△11.80
増減額 (B-A)	△60,000	—	3,000	—	—
増減率 (%)	△5.6	—	—	—	—
前期実績	1,424,708	21,651	15,236	△26,858	△15.85

※当連結会計年度の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、世界経済の情勢や市場の動向、為替相場の変動などのリスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績はこれら見通しと大きく異なる場合がありますので、この当連結会計年度の見通しに全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えるようお願いいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③ 経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	137,315	111,245
受取手形及び売掛金	136,918	132,781
商品及び製品	75,156	77,425
仕掛品	8,745	9,371
原材料及び貯蔵品	26,116	33,029
繰延税金資産	9,291	9,492
その他	20,931	27,863
貸倒引当金	△1,380	△1,570
流動資産合計	413,094	399,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	112,509	102,372
機械装置及び運搬具（純額）	92,248	92,475
土地	268,946	269,289
リース資産（純額）	6,426	3,777
建設仮勘定	13,976	31,811
その他（純額）	10,560	12,681
有形固定資産合計	504,668	512,408
無形固定資産		
その他	8,540	8,970
無形固定資産合計	8,540	8,970
投資その他の資産		
投資有価証券	83,792	81,732
長期貸付金	4,047	4,107
繰延税金資産	8,532	7,734
その他	24,312	21,834
貸倒引当金	△9,680	△9,640
投資その他の資産合計	111,005	105,769
固定資産合計	624,214	627,148
資産合計	1,037,308	1,026,786

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	165,362	161,516
短期借入金	83,320	84,287
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
リース債務	1,720	1,351
未払法人税等	3,509	3,187
未払費用	32,148	32,472
賞与引当金	10,560	10,835
製品保証引当金	2,909	3,565
預り金	3,703	3,674
その他	17,253	26,942
流動負債合計	350,489	337,833
固定負債		
社債	23,000	43,000
長期借入金	220,217	184,521
リース債務	5,121	2,704
繰延税金負債	5,022	4,366
再評価に係る繰延税金負債	55,818	55,818
退職給付引当金	59,658	57,702
長期預り金	1,285	1,249
負ののれん	335	379
その他	7,080	7,438
固定負債合計	377,539	357,179
負債合計	728,028	695,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	117,493	145,407
自己株式	△576	△570
株主資本合計	207,990	235,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,407	1,340
繰延ヘッジ損益	△39	△45
土地再評価差額金	73,340	73,195
為替換算調整勘定	△26,303	△29,762
評価・換算差額等合計	50,404	44,727
少数株主持分	50,885	51,137
純資産合計	309,279	331,773
負債純資産合計	1,037,308	1,026,786

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	859,715	442,848
売上原価	753,865	407,209
売上総利益	105,850	35,638
販売費及び一般管理費	66,647	55,655
営業利益又は営業損失(△)	39,202	△20,017
営業外収益		
受取利息	2,456	487
受取配当金	801	207
負ののれん償却額	154	44
持分法による投資利益	4,736	—
その他	1,899	840
営業外収益合計	10,048	1,579
営業外費用		
支払利息	3,572	3,302
持分法による投資損失	—	20
訴訟和解金	2,462	447
その他	3,140	1,373
営業外費用合計	9,175	5,143
経常利益又は経常損失(△)	40,075	△23,580
特別利益		
固定資産売却益	17	233
貸倒引当金戻入額	—	92
関係会社出資金売却益	176	—
その他	335	106
特別利益合計	529	432
特別損失		
固定資産処分損	748	479
減損損失	—	764
たな卸資産評価損	712	—
その他	626	350
特別損失合計	2,086	1,594
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,518	△24,742
法人税等	3,163	2,307
少数株主利益	5,276	717
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,077	△27,768

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38,518	△24,742
減価償却費	19,775	19,741
負ののれん償却額	△154	△44
持分法による投資損益(△は益)	△4,736	20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	438	1,847
製品保証引当金の増減額(△は減少)	34	△908
賞与引当金の増減額(△は減少)	224	△279
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△271	△168
受取利息及び受取配当金	△3,258	△694
支払利息	3,572	3,302
固定資産売却損益(△は益)	△17	△233
固定資産処分損益(△は益)	748	479
減損損失	—	764
その他の特別損益(△は益)	640	29
売上債権の増減額(△は増加)	24,719	△4,498
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,626	13,513
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,990	3,291
仕入債務の増減額(△は減少)	2,865	4,141
未払費用の増減額(△は減少)	△5,702	△879
預り金の増減額(△は減少)	376	△3
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,860	1,457
その他	△174	△56
小計	44,120	16,079
利息及び配当金の受取額	7,131	4,394
利息の支払額	△3,624	△3,211
法人税等の支払額	△11,858	△3,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,770	14,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△970	△19
投資有価証券の売却による収入	8	4
固定資産の取得による支出	△29,831	△24,685
固定資産の売却による収入	500	2,453
長期貸付けによる支出	△962	△112
長期貸付金の回収による収入	62	36
短期貸付金の増減額(△は増加)	52	33
定期預金の増減額(△は増加)	438	△2
関係会社出資金の払込による支出	—	△1,233
その他	186	△292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,514	△23,815

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,806	△9,324
長期借入れによる収入	28,626	74,009
長期借入金の返済による支出	△25,172	△30,498
社債の償還による支出	△60	—
リース債務の返済による支出	—	△749
自己株式の取得による支出	△46	△5
配当金の支払額	△8,456	△20
少数株主への配当金の支払額	△2,794	△578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,709	32,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,439	△627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,893	22,625
現金及び現金同等物の期首残高	149,721	116,198
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	901	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,729	138,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社グループは、自動車および部品並びに産業用エンジンの製造、販売（自動車事業）を主な事業としており、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める自動車事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	548,553	44,764	224,656	41,741	859,715	—	859,715
セグメント間の内部売上高	77,253	3,944	28,717	2,189	112,104	△112,104	—
計	625,806	48,708	253,373	43,930	971,819	△112,104	859,715
営業利益	21,106	1,300	15,336	1,680	39,423	△220	39,202

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	283,154	28,205	108,362	23,126	442,848	—	442,848
セグメント間の内部売上高	37,472	1,062	10,837	572	49,945	△49,945	—
計	320,627	29,268	119,199	23,698	492,793	△49,945	442,848
営業利益又は営業損失 (△)	△26,602	1,104	4,168	△64	△21,394	1,377	△20,017

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 … 米国

(2) アジア … シンガポール、中国、フィリピン、タイ、インドネシア

(3) その他の地域 … オーストラリア、南アフリカ、ドイツ

3. 前第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結累計期間における配賦不能営業費用はありません。

4. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(重要な資産の評価基準及び評価方法の変更)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更致しました。

この結果、従来の方法に比べ、「日本」の営業利益に与える影響は軽微です。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	45,987	235,763	274,314	556,065
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	859,715
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	5.3	27.4	31.9	64.7

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	29,197	132,788	93,084	255,070
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	442,848
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	6.6	30.0	21.0	57.6

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)北米 … 米国

(2)アジア … 中国、タイ、インドネシア、フィリピン

(3)その他の地域 … サウジアラビア、ポーランド、エクアドル、南アフリカ、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

地域別販売実績

前第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結累計期間の販売実績は、次のとおりです。

		前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減	
		台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)	台数(台)	金額 (百万円)
大型・中型車計	国内	12,162	97,004	6,609	57,808	△5,553	△39,196
	海外	18,578	82,062	9,493	41,289	△9,085	△40,772
		30,740	179,067	16,102	99,097	△14,638	△79,969
小型車他計	国内	20,433	61,720	12,028	38,364	△8,405	△23,355
	海外	191,494	286,445	81,535	119,461	△109,959	△166,983
		211,927	348,165	93,563	157,826	△118,364	△190,339
車両計	国内	32,595	158,725	18,637	96,172	△13,958	△62,552
	海外	210,072	368,507	91,028	160,750	△119,044	△207,756
		242,667	527,232	109,665	256,923	△133,002	△270,308
海外生産用部品	海外	—	47,599	—	20,313	—	△27,286
		—	47,599	—	20,313	—	△27,286
エンジン・コンポーネント	国内	—	27,028	—	8,175	—	△18,852
	海外	—	91,529	—	40,800	—	△50,729
		—	118,557	—	48,975	—	△69,582
その他	国内	—	117,896	—	83,429	—	△34,467
	海外	—	48,428	—	33,205	—	△15,222
		—	166,325	—	116,635	—	△49,690
売上高合計	国内	—	303,649	—	187,777	—	△115,872
	海外	—	556,065	—	255,070	—	△300,994
		—	859,715	—	442,848	—	△416,867

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。